

Good luck. Good life.

SANKYO REPORT

第53期

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第53期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）のご報告をするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。

平成30年3月期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の好調及び雇用環境の着実な改善等から景気は緩やかな回復基調が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、ギャンブル等依存症問題への対応の一環として「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（いわゆる改正遊技機規則）が平成29年9月に公布され、平成30年2月1日付で施行となりました。旧規則の遊技機は3年間の経過措置の間に順次、新規則の遊技機に置き換わっていくこととなりますが、現状新規則に対応した遊技機の市場投入は始まっておらず、今後登場する新規則機に対してファンがどのような反応を示すか見通しづらいため、当社グループの顧客であるパチンコパーラーは既存の遊技機の設置機種構成見直しの判断を先送りしており、パチンコ・パチスロの販売市場は低調に推移いたしました。

こうした中、当社グループではパチンコ15タイトル（リユース機を除く）、パチスロ6タイトルを販売いたしました。このうちパチンコの新機種投入が上半期5タイトルにとどまったことから第3四半期累計期間までは営業損失を余儀なくされましたが、下半期は10タイトルを投入して盛り返すとともに、平成29年8月に発売したパチンコ「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」がロングランヒットとなったことが当社グループのブランド力向上にもつながり、売上、損益ともに回復基調が顕著となりました。

以上の結果、売上高862億円（前期比5.9%増）、営業利益101億円（同101.2%増）、経常利益113億円（同195.3%増）、平成30年4月27日に公表いたしました株式会社三共クリエイティブが保有する固定資産の減損損失計上はあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益は55億円（同212.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。



代表取締役会長

加藤 孝行



代表取締役社長

簡井 公久

パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、売上高672億円（前期比11.1%増）、営業利益145億円（同40.1%増）、販売台数171千台となりました。販売の少ロット化傾向が続く中、当社グループでは前期の11タイトルを上回る15タイトル（リユースを除く）を投入し、前期並みの販売台数を確保いたしました。主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」（平成29年8月）、「フィーバー機動戦士Zガンダム」（平成30年1月）、Bistyブランドの「エヴァンゲリオン2018年モデル」（平成29年10月）、「コードギアス 反逆のルルーシュ～エンペラーロード～」（平成30年2月）、JBブランドの「フィーバーパワフル2018」（平成30年2月）、「フィーバークイーン2018」（平成30年2月）であります。

パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、売上高111億円（前期比15.6%減）、営業利益1億円（前連結会計年度は2億円の営業損失）、販売台数29千台となりました。パチスロは規制変更の影響をパチンコ以上に受けるのではないかと懸念があり、パーラーが新台購入に慎重姿勢を示したことから、当社グループにおいても低調な販売結果に終わりました。主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロマクロスフロンティア3」（平成29年5月）、「パチスロアクエリオンEVOL」（平成29年7月）、Bistyブランドの「パチスロ新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～2」（平成30年1月）であります。

補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、パーラーの新規出店意欲が低調に推移していることなどを受けて、売上高72億円（前期比0.6%増）、営業利益4億円（同35.9%増）となりました。

その他

その他につきましては、売上高5億円（前期比11.0%増）、営業損失4億円（前連結会計年度は6億円の営業損失）となりました。

連結財務ハイライト (平成30年3月期)

売上高

86,220百万円 (前期比 5.9%増)

経常利益

11,319百万円 (前期比 195.3%増)

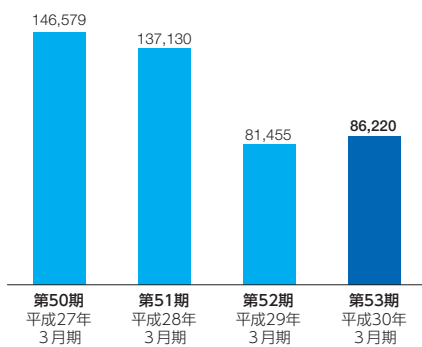
営業利益

10,181百万円 (前期比 101.2%増)

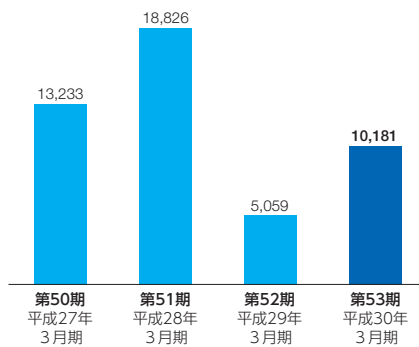
親会社株主に帰属する当期純利益

5,550百万円 (前期比 212.2%増)

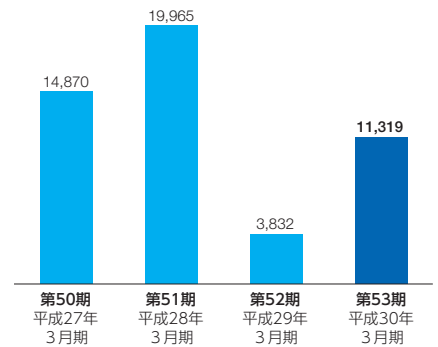
売上高 (単位:百万円)



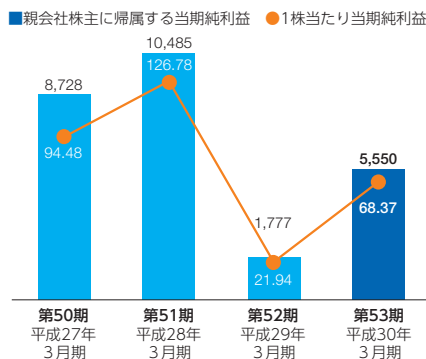
営業利益 (単位:百万円)



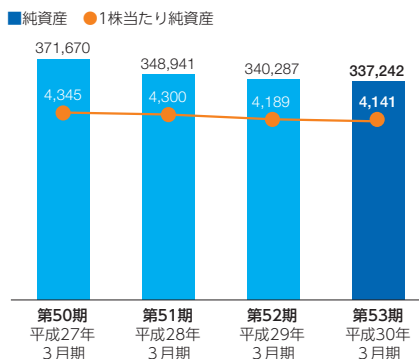
経常利益 (単位:百万円)



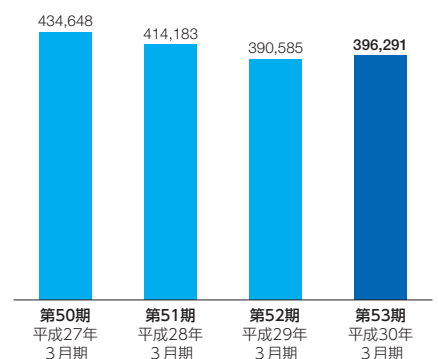
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)
1株当たり当期純利益 (単位:円)



純資産 (単位:百万円)
1株当たり純資産 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



平成31年3月期の見通し

次期(平成31年3月期)の市場環境につきましては、改正遊技機規則の施行及び3年間の経過措置の初年度であり、旧規則で型式試験に適合した商品も引き続き販売が可能です。今後投入が予定される新規機につきましては出玉の総量が従来より抑えられたものになるためファンがどのような反応を示すか読みづらいものの、これまでより手軽に遊べるタイプの商品開発競争が予想されるとともに、設定付パチンコといった新たなゲーム性につながる要素もあるため、当社グループとしても旧規則機の販売と並行して新規機の型式申請を積極的に行い、市場投入を目指してまいります。

以上に基づき、当社グループの次期のパチンコ販売台数は205千台、パチスロ販売台数は39千台を計画しており、連結業績見通しは次のとおりであります。

● 平成31年3月期 連結業績予想

売上高	90,000百万円	(前期比 4.4%増)
営業利益	12,000百万円	(前期比 17.9%増)
経常利益	13,000百万円	(前期比 14.8%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	9,000百万円	(前期比 62.1%増)
1株当たり当期純利益	110.87円	
1株当たり年間配当金	150円	
うち中間配当金	75円	

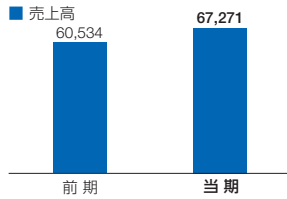
セグメント別営業概況

パチンコ機関連事業

売上高

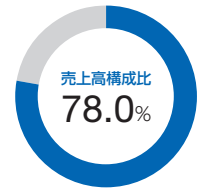
67,271 百万円

(前期比 11.1%増)



事業内容

パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤の製造販売、関連部品販売及びパチンコ機関連ロイヤリティー収入

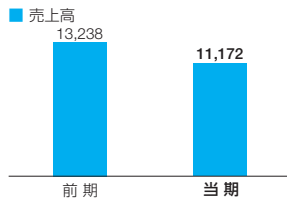


パチスロ機関連事業

売上高

11,172 百万円

(前期比 15.6%減)



事業内容

パチスロ機の製造販売、関連部品販売及びパチスロ機関連ロイヤリティー収入

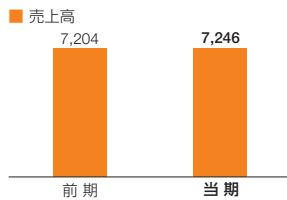


補給機器関連事業

売上高

7,246 百万円

(前期比 0.6%増)



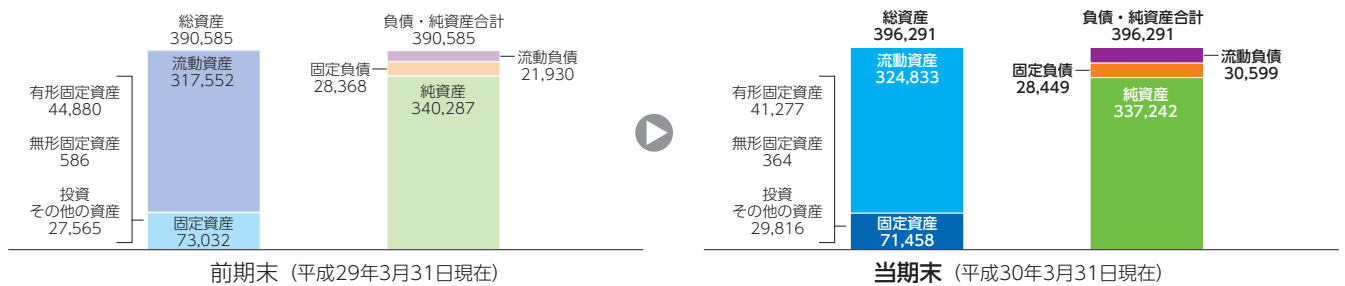
事業内容

パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器販売及び補給機器関連ロイヤリティー収入

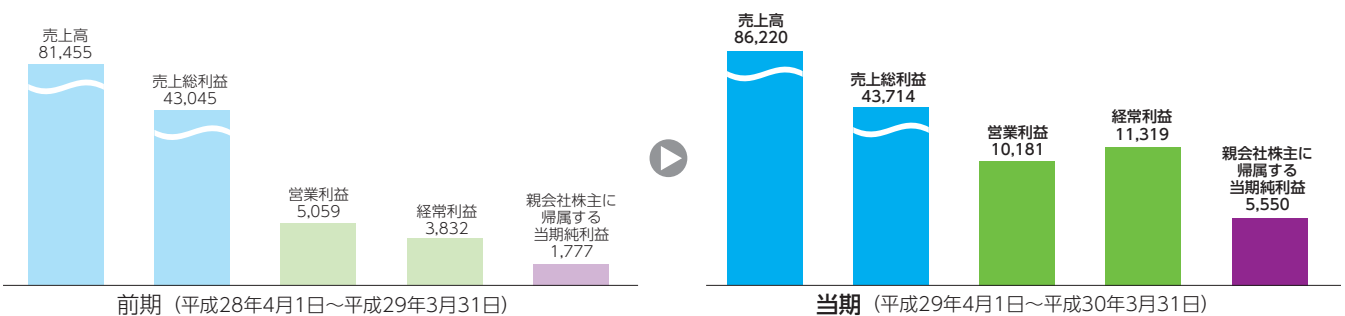


連結財務諸表

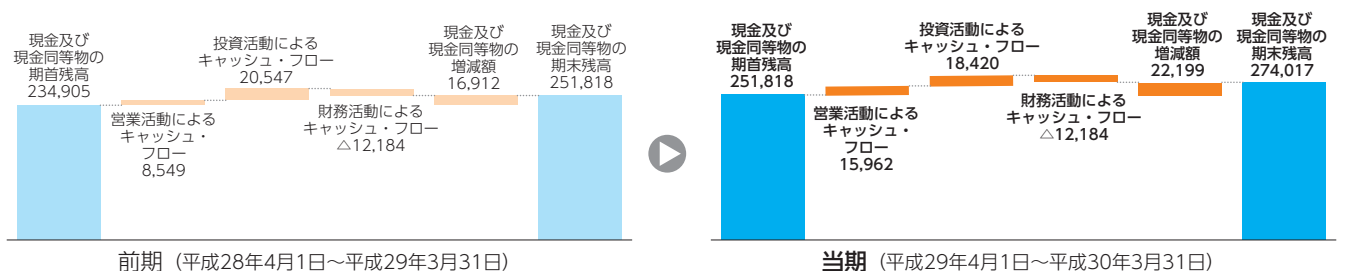
財政状態 (単位: 百万円)



経営成績 (単位: 百万円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



『フィーバー戦姫絶唱シンフォギア』がパチンコ大賞を受賞

当社の『フィーバー戦姫絶唱シンフォギア』（以下フィーバーシンフォギア）が2018年3月に、一般社団法人パチンコ広告協議会が開催した「ファンが選ぶパチンコ・パチスロ大賞2017」で、最高賞となる「パチンコ大賞2017」を受賞しました。これは、2017年に販売された全機種の中から、年間を代表する遊技機をパチンコ・パチスロファンがWeb投票によって決めるものです。

フィーバーシンフォギアは、2017年8月の導入当初こそ販売台数が少なかったものの、遊びやすい機種として徐々にパチンコファンの間で話題となり、全国のパーラーで導入や増台が進み、年度を通じて快進撃を続けることができました。

近年、パチンコ業界では、開発費の高騰、販売台数の少ロット化が進んでおり、収益の圧迫要因となっております。当社グループでは開発期間の短縮を最優先課題として取り組んでおり、具体的には、「ハイエンドモデルと汎用モデル」、あるいは「版權とのタイアップ商品とSANKYOオリジナル商品」、などに大別して開発体制を組み、原価・研究開発費の配分にメリハリをつけ、コスト管理を徹底し、少ロットでも利益を確保できるよう経営努力を重ねております。

社是でもあるところの「創意工夫」が結実したフィーバーシンフォギアは、コンテンツ・ゲーム性の魅力などから、まず若いパチンコファンの人気を集め、日を重ねるごとに幅広い層に評判を呼ぶようになりました。パーラーからは、「一旦パチンコから離れていたファンが再び足を運ぶようになった」、「パチスロファンも楽しんでプレーしているようだ」、とも聞かれます。発売から1ヶ月程度で販売が収束するのが一般的なパチンコ機ですが、長期にわたるファンからの人気や、安定的にパーラーの収益に貢献した機種として注目された結果、年度をまたいで増産を重ね、初投入から9ヵ月後の2018年5月には、パーラーからの熱い要望に応え、新デザイン版を送り出しました。

今後もSANKYOグループは、フィーバーシンフォギアのようにパチンコファンからもパーラーからも愛される機種を開発し、市場にいち早く投入することによって、引き続きブランド力・販売力・収益力の向上を図ってまいります。



©Project シンフォギア ©Project シンフォギアG

株主優待のご案内

毎年3月31日ならびに9月30日現在の株主名簿に記録された1単元（100株）以上を保有の株主様に、当社グループが経営するゴルフ場『吉井カントリークラブ』（群馬県高崎市）で利用可能な優待券を以下の条件に基づいて贈呈いたします。

● 贈呈基準

保有株式数	ご利用日	優待内容	贈呈枚数
100～999株	平日	10,000円割引券	1枚/1回
	土日、祝日	5,000円割引券	
1,000～9,999株	全日	プレーフィー無料券	1,000株につき1枚/1回
10,000株～	全日	プレーフィー無料券	一律10枚/1回

● 発送日・有効期間

対象となる株主様	発送日	有効期限
3月31日現在の株主様	6月下旬	翌年の2月末まで
9月30日現在の株主様	12月初旬	翌年の8月末まで



吉井カントリークラブ

〒370-2138 群馬県高崎市吉井町下奥平554
ホームページ: <http://www.ycc-golf.co.jp/>

会社概要

商号	株式会社 SANKYO (登記社名 株式会社 三共)
本社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
設立	昭和41年4月
資本金	148億4千万円
従業員数	連結：1,026名 単体：817名
主要な事業内容	遊技機（パチンコ機、パチスロ機）の製造 及び販売、補給機器等の設計施工及び販売
連結子会社	株式会社三共エクセル 株式会社ビスティ 株式会社三共クワイエット インターナショナル・カード・システム株式会社 株式会社ジェイビー

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役会長	CEO	毒島 秀行
代表取締役社長	COO	筒井 公久
取締役副社長執行役員	営業本部長 兼 商品本部長	富山 一郎
社外取締役		木谷 太郎
社外取締役		山崎 博行
常勤監査役		鶴川 詔八
監査役		石山 俊明
社外監査役		真田 芳郎
社外監査役		野田 典義
専務執行役員	知的財産本部長	小倉 敏男
常務執行役員	製造本部長 兼 三和工場長	高井 克昌
常務執行役員	管理本部長	大島 洋子
執行役員	営業本部副本部長 兼 中国・四国ブロック長 兼 広島支店長	東郷 裕二
執行役員	管理本部 情報システム部長	古平 博
執行役員	商品本部	福田 隆
執行役員	商品本部 商品部長	堤 順一
執行役員	商品本部 購買部長	関根 史高
執行役員	商品本部 PS開発部長	鴨田 久
執行役員	営業本部副本部長 兼 販売戦略部長	尼子 勝紀
執行役員	管理本部副本部長 兼 経理部長	高橋 博史
執行役員		蒔田 穂高

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SANKYO 検索 <https://www.sankyo-fever.co.jp/>

株式会社 SANKYO

本社：〒150-8327 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
お問い合わせ先：☎ 03-5778-7777 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人、 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(URL https://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html)

株式の状況

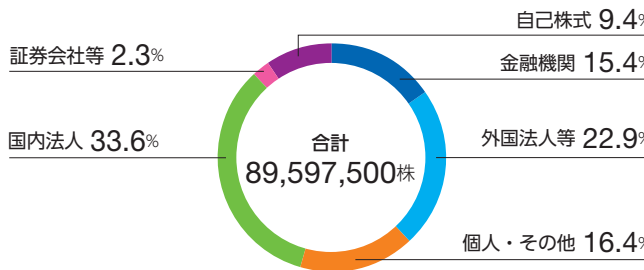
発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	89,597,500株
株主数	13,560名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マーフコーポレーション	28,346	31.63
株式会社SANKYO	8,421	9.39
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,824	4.26
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,649	2.95
赤石 典子	2,506	2.79
毒島 章子	2,506	2.79
毒島 秀行	2,431	2.71
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	1,473	1.64
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,375	1.53
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,298	1.44

(注) 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別構成比



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。